

## 武蔵野市エコプラザ（仮称）に関するアンケート調査結果

### アンケート実施概要

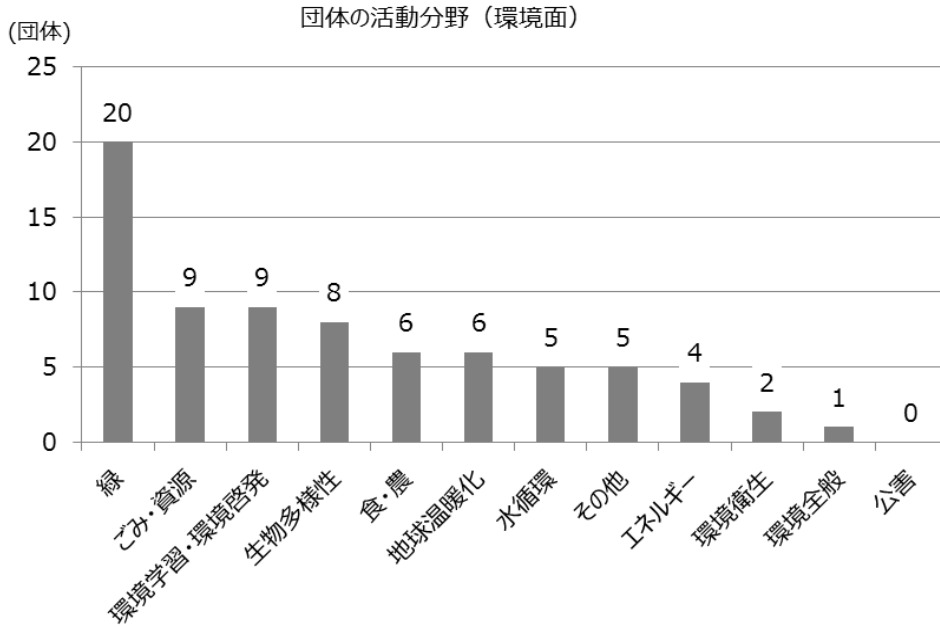
発送日：平成30年7月9日

発送数：53件

回答数：38件（回答率72%）

### 1 団体の概要について

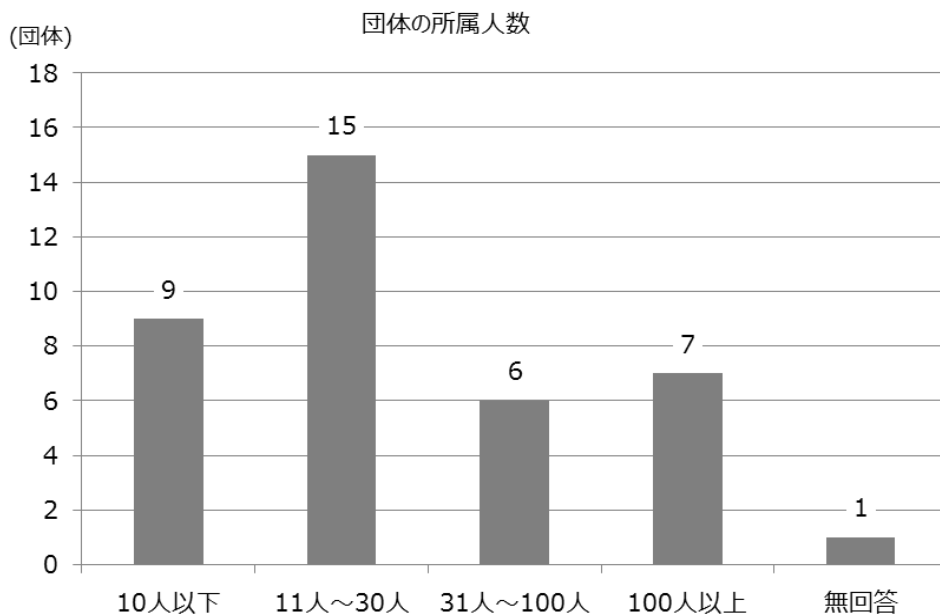
#### (1) 団体の活動分野（環境面）（複数回答可）



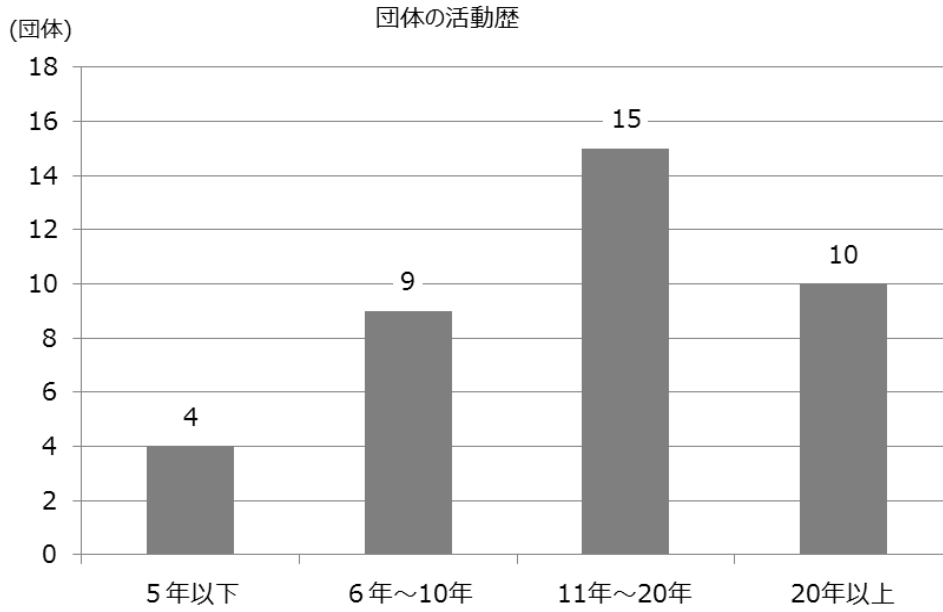
その他の内訳

- ・自然
- ・雨水活用
- ・動物愛護
- ・古着などからbag、アクセサリーを作る手仕事ワークショップの開催等

#### (2) 団体の所属人数（現時点でメンバーとして登録されている人数）



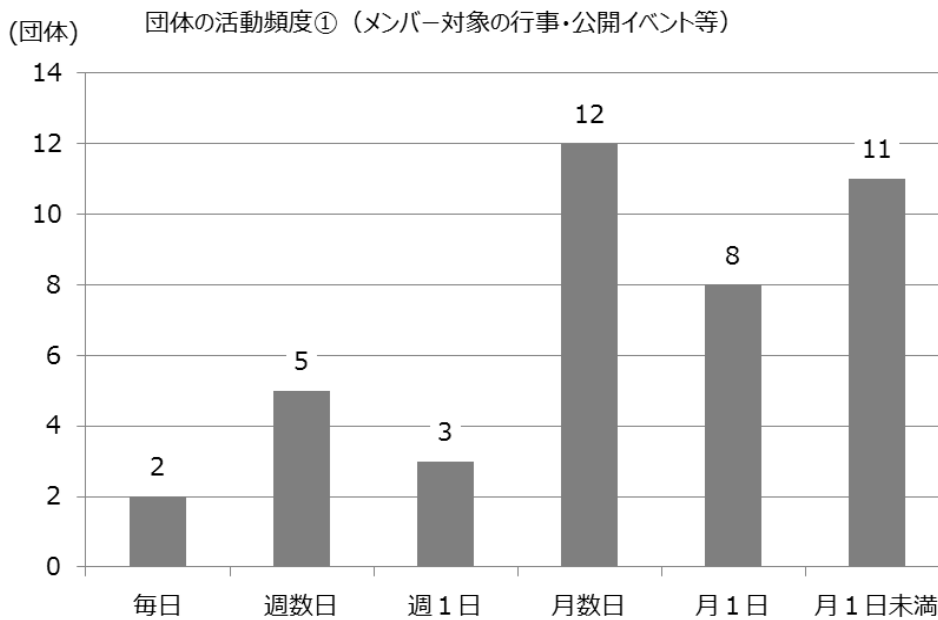
### (3) 団体の活動歴



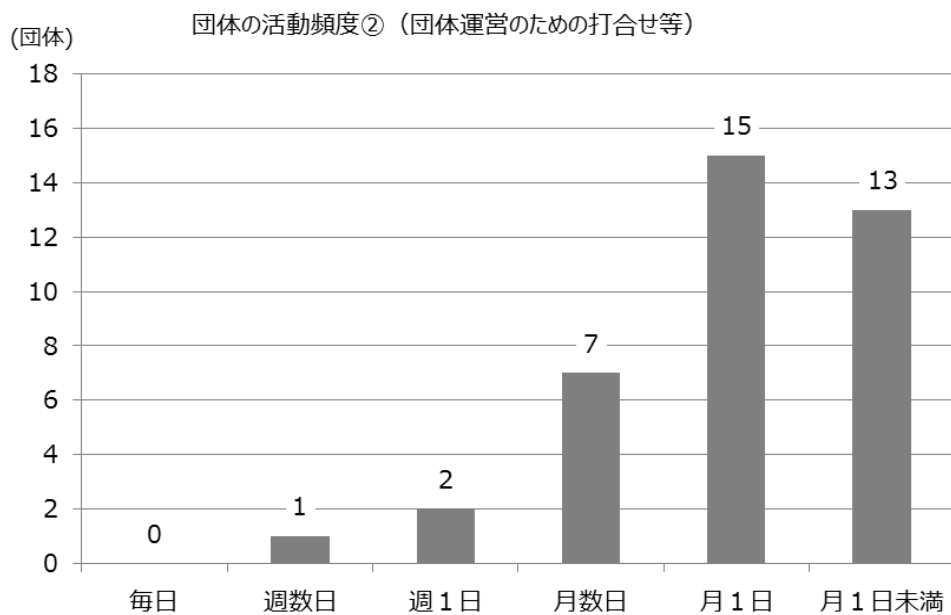
## 2 活動状況

### (1) 活動頻度 (平均的な頻度)

① 団体のメンバー対象の行事や公開イベント等 ※複数回答を含む

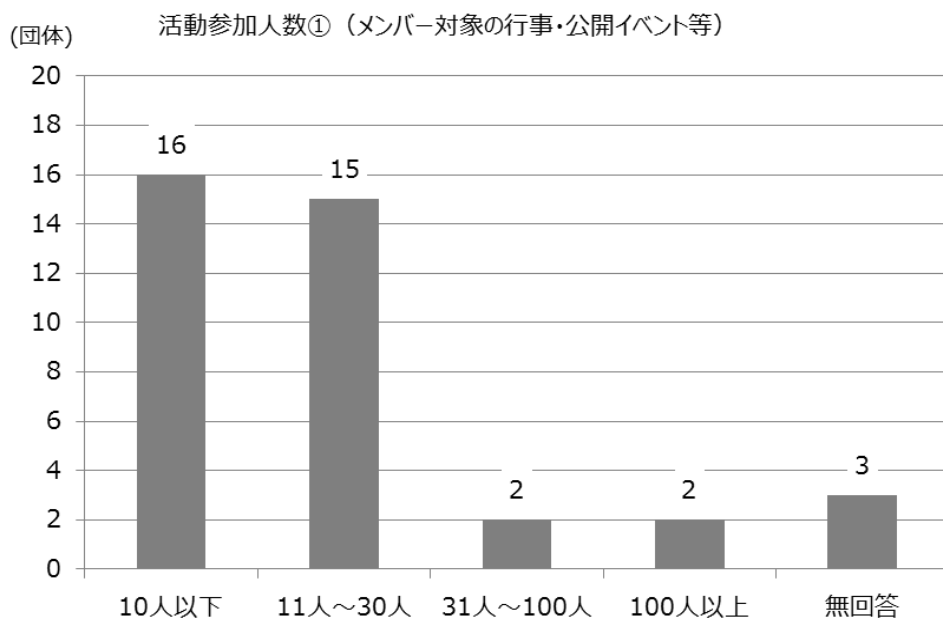


② 団体の運営のための内部打合せ等

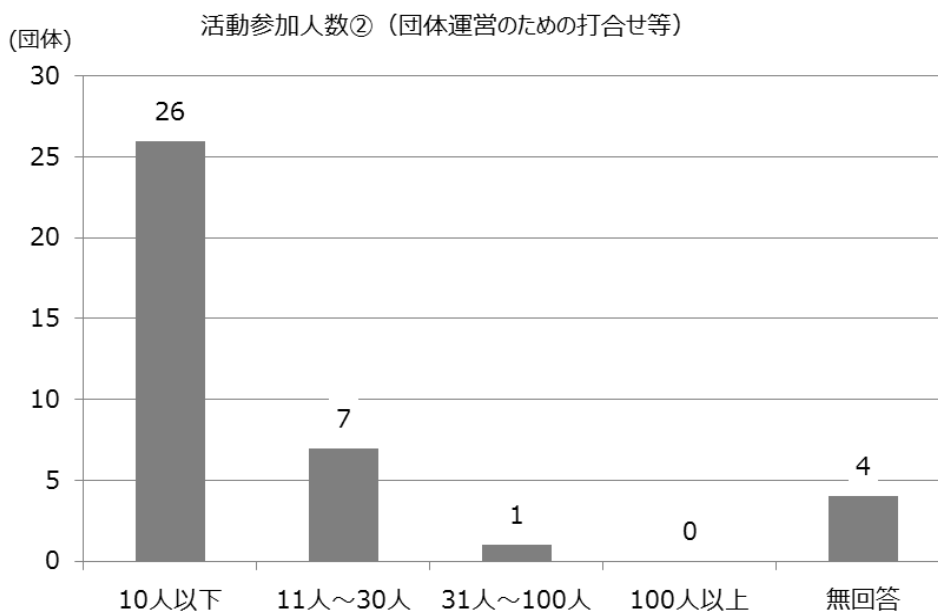


(2) 活動への団体メンバーの参加人数（平均的な人数）

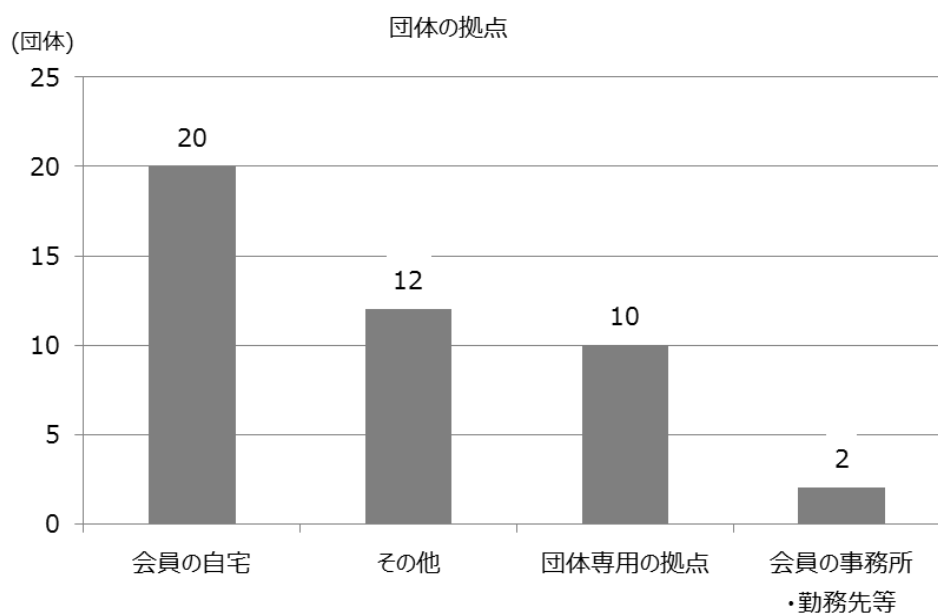
① 団体のメンバー対象の行事や公開イベント等



② 団体の運営のための内部打合せ等



③ 団体の拠点（「拠点」とは、団体の連絡先や、事務作業を行う場所）（複数回答可）

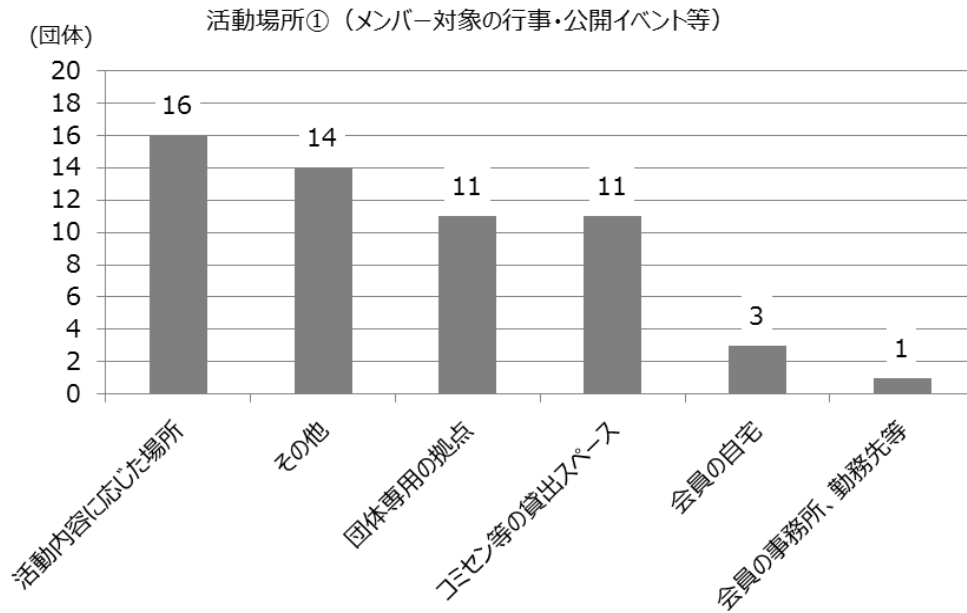


その他の内訳

- ・武蔵野プレイス（2団体）
- ・コミュニティセンター（5団体）
- ・公園（4団体）
- ・貸ホール
- ・事務局

(4) 主な活動場所（複数回答可）

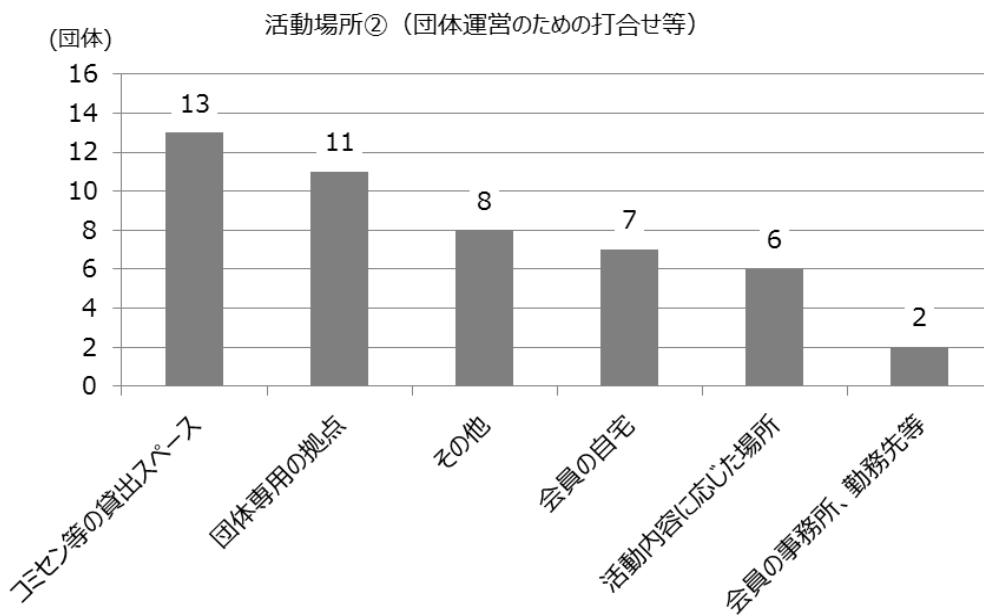
① 団体のメンバー対象の行事や公開イベント等



その他の内訳

- ・武蔵野プレイス
- ・コミュニティセンター、地域の活動拠点
- ・公園（6団体）
- ・貸ホール、民間会議室、ホテル（2団体）
- ・公共施設（2団体）
- ・カフェ
- ・現地フィールドワーク（2団体）

② 団体の運営のための内部打合せ等

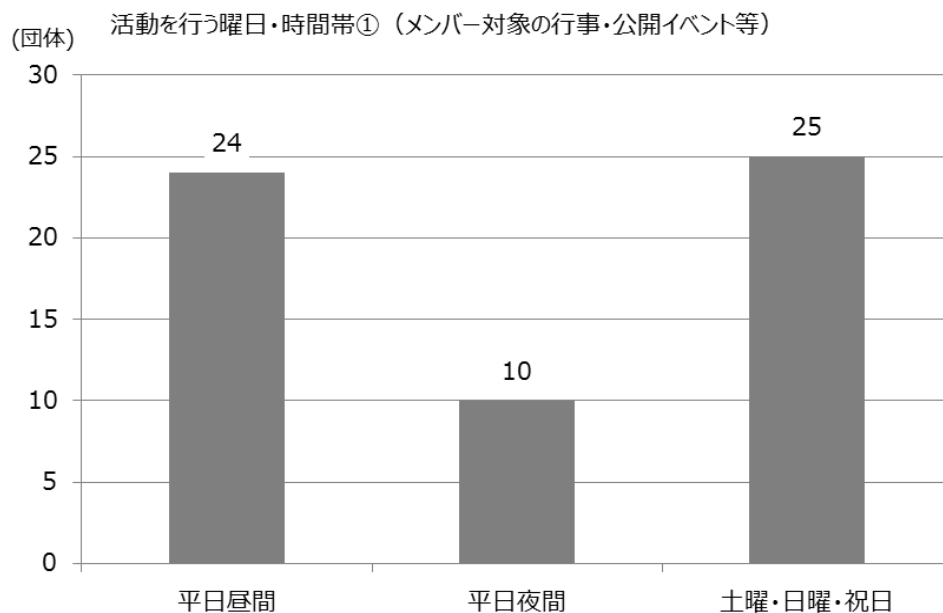


その他の内訳

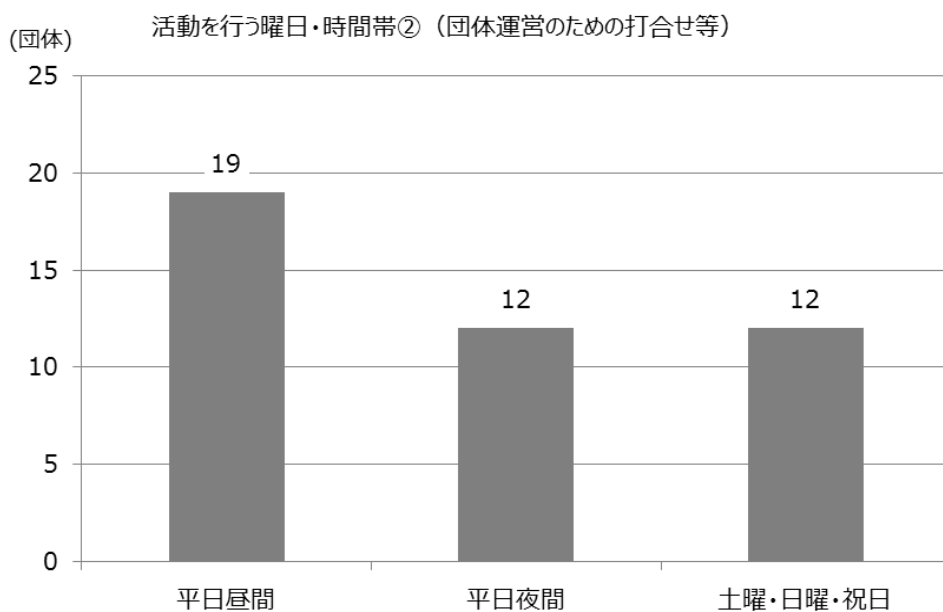
- 武蔵野プレイス（2団体）
- スカイプ利用
- 市役所会議室
- 貸ホール
- 公園

(5) 活動を行う曜日と時間帯（複数回答可）

① 団体のメンバー対象の行事や公開イベント等



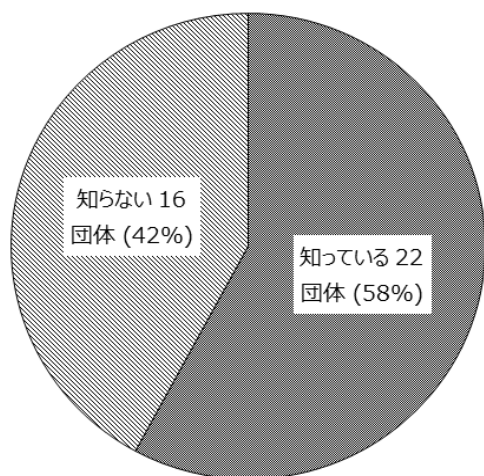
② 団体の運営のための内部打合せ等



### 3 エコプラザ（仮称）について

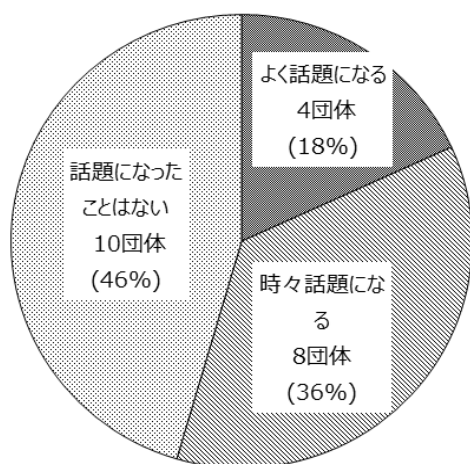
#### (1) エコプラザ（仮称）の整備・検討を進めていることを知っているか

エコプラザ（仮称）の整備・検討を進めていることを知っているか



#### (2) 活動の中でエコプラザ（仮称）が話題になったことはあるか

団体の中でエコプラザ（仮称）が話題になるか  
（前問で「知っている」とした団体のみ対象）



### 4 団体の活動における課題について

#### ① 活動する場所

活動場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区ごとの企画を検討する際、コミセンが1か月前でないとは予約できない。</li> <li>・市役所、事務局、コミセン、プレイス、活動現場等で現在は行えているが、いつまで確保できるか？</li> <li>・拠点が区内にあるが、活動範囲が広いので、行事によっては話し合い、準備作業の場所がない。</li> <li>・まず「どこでやる？」場所探しに苦労する。</li> </ul>
資料等の保管場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務所がないので、猫を一時的に保護する場所や道具などの置き場がないこと。</li> <li>・活動の拠点がほしい。その中に、持っている資料や活動に必要な道具を保管するスペースがほしい。</li> </ul>
費用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有料だと経費がかかり、参加者にも負担になる。</li> </ul>
土日の利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土・日借りられる場所がない。</li> </ul>

② 展示やイベントの開催

開催場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園でのイベントをするには様々なハードルがある（人数、動員数、販売不可）。</li> <li>雰囲気のある場所がない。</li> <li>もっといろいろな場所でのワークショップなどをしたい。</li> </ul>
周知・集客	<ul style="list-style-type: none"> <li>告知・周知に課題がある。</li> <li>会場の確保。集客。</li> <li>啓発のためのイベントをやりたいが、企画や運営をする余裕がない。</li> </ul>
制約	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域行事との重複を避けた日程の設定。</li> <li>パネル・道具等の保管スペースが足りない。</li> <li>車両搬入ではない場合の什器持込みの限界。</li> </ul>
費用	<ul style="list-style-type: none"> <li>有料の場合が多いので、日数が短くなる。</li> </ul>

③ 活動に必要な環境問題などの情報の入手

情報入手方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報入手の場がほしい。</li> <li>本や新聞、テレビなどからの情報は得ているが、限界を感じている。</li> <li>情報入手の機会が少ない。</li> <li>インターネットでチェック可能な情報を整備して欲しい。</li> </ul>
情報不足	<ul style="list-style-type: none"> <li>アルミ缶、米ぬか、コーヒーかすなど、回収させてくれるところを探している。そのような情報が集まってくるとよい。</li> <li>外部の団体等より入手すると、不十分。</li> </ul>
情報共有	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報をキャッチしても共有するチャンスを得られない、活かせない。</li> </ul>

④ 活動に対する、行政や民間団体による支援制度の情報入手

情報不足	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動に対する、行政や民間団体による支援制度の情報が必要。</li> <li>環境問題の活動に対して補助金を提供している団体や協力的な企業の情報を知りたい。</li> <li>情報がなかなか得られない。</li> <li>助成金などの情報がわからない。</li> <li>情報入手の機会が少ない。</li> </ul>
情報入手方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>人手不足なので、気がついたときにインターネットで情報収集する程度で、組織的な動きはできていない。</li> </ul>
支援手続き等	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援を受けて、報告書など煩雑になるのは困る。</li> <li>市の協力が充分得られない。</li> </ul>

⑤ 他団体との意見交換、事業の連携・協力

連携の難しさ	<ul style="list-style-type: none"> <li>テーマが異なると連携は難しい。</li> <li>連携がうまくできていない。</li> <li>他の地域の団体と交流、連携があるが、武蔵野市内の団体とはあまり接点がない。</li> <li>意見交換の機会はあるが、マンパワー、財源などの点で事業連携にまではなかなか難しい。</li> </ul>
連携の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な団体にも関係する問題に取り組んでいると思うが、連携の方法がわからない。</li> <li>気軽に連携できる仕組みが欲しい。</li> </ul>
連携の事例	<ul style="list-style-type: none"> <li>腐葉土の提供での連携、協力が助かっている。</li> <li>自身も参加している団体や知り合う方々と共働している。</li> <li>他団体には、参考にできることがあるのではないかとと思っている（緑のボランティア 横のつながり）。</li> <li>環境フェスタではできない他団体間の交流を深め、互いの活動を理解し、できることは実践して良好な地域・地球環境をめざしていく。</li> </ul>

⑥ 団体の運営体制

人員の固定化・不足	<ul style="list-style-type: none"> <li>メンバー固定化、高齢化</li> <li>運営が一部の人の負担となり代わりがない。</li> <li>事務局の担い手。</li> <li>常勤スタッフがおらず事務面での体制が弱い。</li> <li>実際に活動できる人員が少なく、日々の相談対応に困ることが多い。</li> <li>複業の為、注力できない期間がありもどかしい。</li> </ul>
高齢化	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢化。50歳代以下の入会が極めて少ない。</li> <li>メンバーの高齢化。世代交代をどう図るかが課題になってくる。新しい仲間はポツポツ増えてはいるが。</li> <li>メンバーの高齢化のため、公園の緑の保全が厳しくなっています。</li> <li>会員の年齢層が上がっている。活動に関心をもつ若い人もいるが巻き込み方法に悩んでいる。</li> <li>エコプラザを通して市民特に若い人たちの発掘に期待している。</li> </ul>



人件費確保	・人件費の確保がむずかしいため、優秀な人材がなかなかあつまらない。
負担増大	・子供相手のイベントを数多く実施しており、スタッフの負担が過大になっている。 ・活動が多岐に及んでいるため、管理業務が複雑になり過ぎており、市民団体の域を越えている。

### ⑦ 活動資金の確保

資金の不足・不安定	・広報費が充分とれない場合も。 ・一部いきいきサロンの活用を始めるもまだわずか。 ・自転車操業、手弁当など多々。 ・安定財源がない。 ・安定性がない（会費・寄付、受託事業、助成金といった財源は年により変動が大きいので）。
支援	・資金のほとんどは寄付でまかなっているが、助成金があると、とても助かる。 ・環境問題の活動に対して補助金を提供している団体や協力的な企業の情報を知りたい。
資金の獲得	・資金を得るための自由な場がほしい（公園での産物を加工したり、作品を販売する）。 ・行政委託以外の方法も試みたい。

### ⑧ 活動内容の周知

周知手段の不足	・SNSでの発信が弱い。 ・市報のように周知する場所が欲しい。 ・既存のネットワークより外への情報発信が難しい。 ・市民への周知がまだまだできていない。 ・活動を広く知ってもらうことが困難。 ・活動が多岐に及んでおり、周知が簡単に行えない。 ・小学生向けのイベントは、学校向けにチラシが配布可能なので、周知され、応募・参加者が多い。大人気。大人向けのイベントは、市報にほぼ限定されるので、周知効果が低く、応募・参加者が少ない。
イベント活用	・エコマルシェ等、活用させていただいているが、さらに周知ができるとよい。 ・現在は、キャンペーン、くらしフェスタ、環境フェスタが公に情報発信の機会である。エコプラザによってより多くの市民に現状をアピールすることができる。
人員不足	・広報活動にさく人員がたりない。

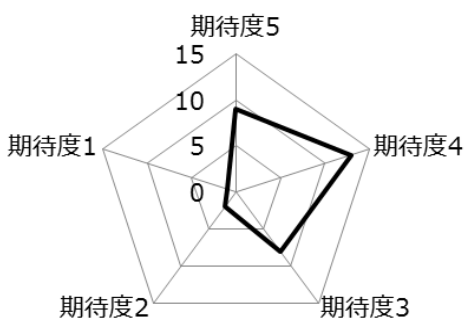
## 5 エコプラザ（仮称）できるとよいこと

### (1) エコプラザ（仮称）できたらよいと思うこと（期待度）

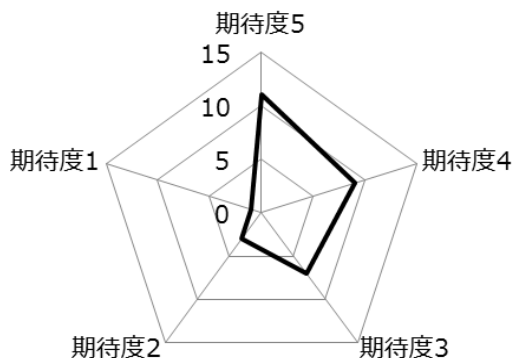
※期待度を5段階で評価（5が最大、1が最小）、無回答は除く。

エコプラザ（仮称）できたらよいと思うこと	期待度				
	5	4	3	2	1
① 最新の環境情報を入手できる。	9	13	8	2	1
② 個人・団体が環境に関する情報を発信できる。	11	9	7	3	1
③ エコな暮らし方につながるスキルを市民同士教え合う、学び合う機会がある。	13	11	4	3	1
④ 子ども同士や親子連れで、遊び、エコについて学べる設備・教材・場所がある。	12	14	5	0	2
⑤ 環境について学びたい、活動したいときに、同じ悩み、課題意識を持つ市民同士をつなげてくれる。	14	8	9	2	0
⑥ 環境について学びたい、活動したいときに、相談、アドバイスを受けたり、活動をサポートしてくれる仕組みがある。	14	14	5	0	0
⑦ エコに関連した市民の漠然としたアイデア・悩みに耳を傾けてくれて、それを実現・解消するための様々な方法を示してくれる。	9	12	7	2	1
⑧ エコプラザ（仮称）の空間を生かした活動のアイデアを受け付けてくれる。	9	12	8	1	1
⑨ 環境学習・体験事業（講座、イベント等）に参加できる。	14	14	4	0	1
⑩ 訪れた人が、何気なくエコな暮らしに関心を持つような仕掛けがある。	8	17	5	0	1
⑪ 省エネや再生可能エネルギー（太陽光発電など）の最新技術を知り、体験できるなど、エコにつながる暮らし方を学べる。	11	11	9	1	0
⑫ エコプラザ（仮称）で行われた展示・イベントなどの記録を見て、具体的な活動ノウハウを得ることができる。	6	11	10	3	1
⑬ 市内各地域・各施設と連携し、地域への出前型の取り組みができる。	11	10	7	1	1

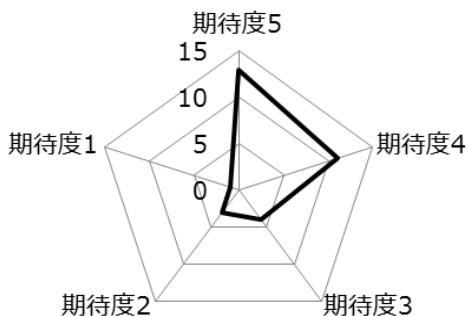
①最新の環境情報を入手できる



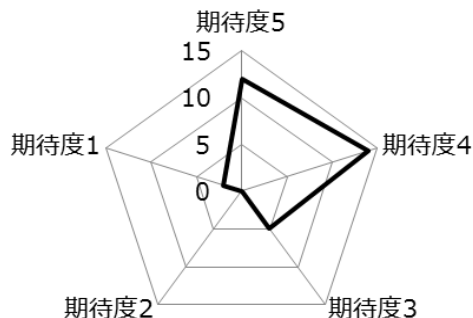
②個人・団体が環境に関する情報を発信できる



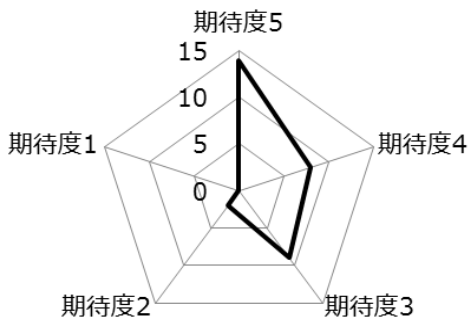
③エコな暮らし方につながるスキルを市民同士教え合う、学び合う機会がある



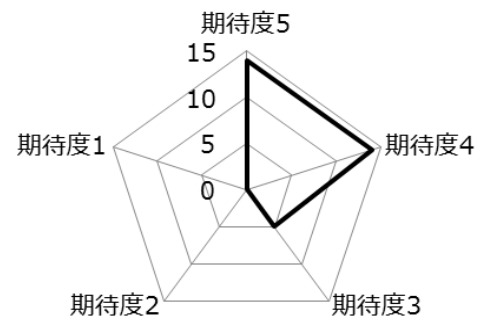
④子ども同士や親子連れで、遊び、エコについて学べる設備・教材・場所がある



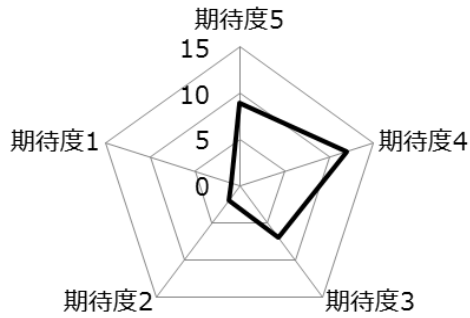
⑤環境について学びたい、活動したいときに、同じ悩み、課題意識を持つ市民同士をつなげてくれる



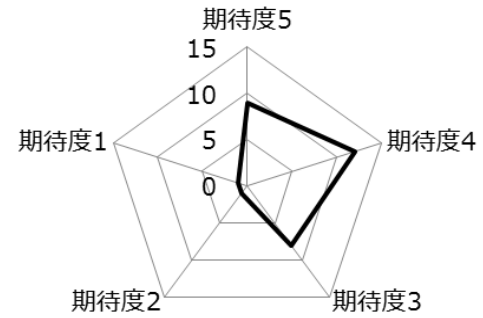
⑥環境について学びたい、活動したいときに、相談、アドバイス、活動をサポートする仕組みがある



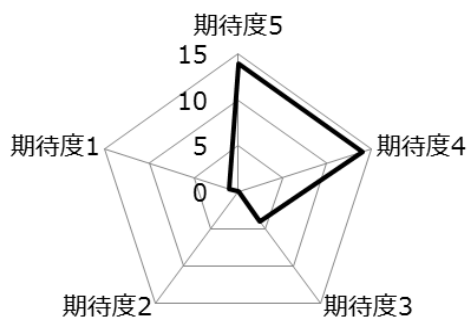
⑦エコに関連した市民の漠然としたアイデア・悩みに耳を傾け、実現・解消のため様々な方法を示す



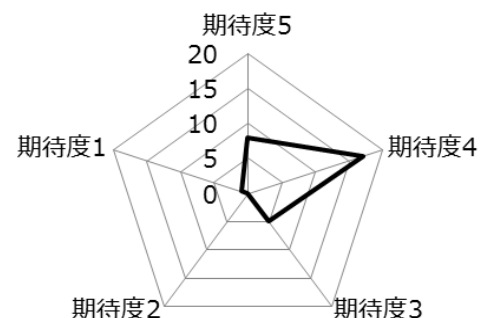
⑧エコプラザ（仮称）の空間を生かした活動のアイデアを受け付けてくれる



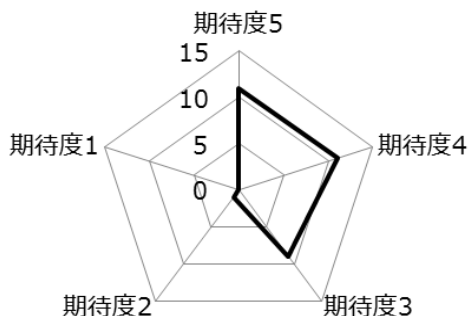
⑨環境学習・体験事業（講座、イベント等）に参加できる



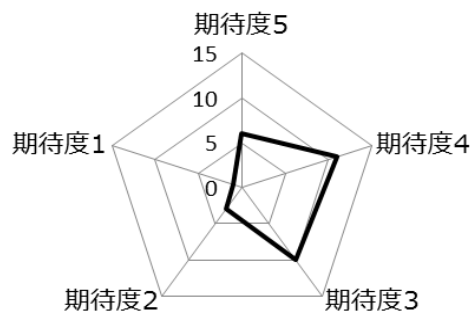
⑩訪れた人が、何気なくエコな暮らしに関心を持つような仕掛けがある



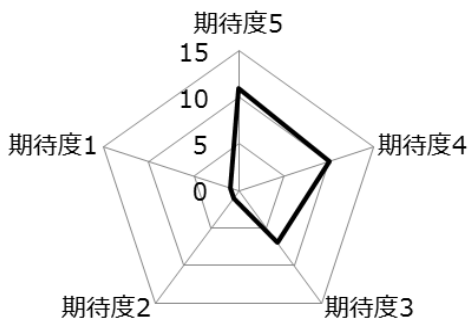
⑪省エネや再生可能エネルギーの最新技術を知り、体験できるなど、エコにつながる暮らしを学べる



⑫エコプラザ（仮称）で行われた展示・イベントなどの記録を見て、活動ノウハウを得ることができる



⑬市内各地域・各施設と連携し、地域へのお出前の取り組みができる。



## (2) エコプラザ（仮称）でできるとよいと思うこと（自由記述）

- ・エコ・カフェをつくる。その一角に「エコ・トーク・テーブル」を設け、その時々テーマでお茶をのみに来た人が自由に話に加わられるような空間にする。
- ・学校ルートでの広報力強化・・・出前授業で、子どもと子育て層に。
- ・事業者ルートの開拓・・・中小企業、商店等へのお出前授業や学習会告知。
- ・毎年行われる「環境展」。現在はブースのみであるが「プレイス」で行っていたような「環境講座」的なものがあったらよいのではないか。
- ・環境学習リーダー養成講座。出前授業をやるにしても、「伝える」技術と基本的なオールラウンドな環境知識のレベルを身につけるべき。
- ・大判ポスター印刷のできるプリンター、ラミネーターなどの利用ができるとよい。
- ・市内で環境に関する活動を行っている団体の活動の場があるとよい。貸会議室、貸作業室、工具などがそろっており、そこで材料の再生、解体、製作ができるスペースがあるとよい（ものを大切にするというコンセプト。テンダー氏の『ダイナミックラボ』のような施設）。
- ・講座・イベント開催場所の常設化、できれば大・中・小
- ・環境・エコに関する実験・実習の場所（常設化）。
- ・映像の発信場所（常設化、兼用可）。
- ・場をいかした継続的な活動：植物の栽培、生きものを育てる、ビオトープ、水質調査など、個人宅や事務所ではできないような実践・調査など。
- ・環境問題に関心のある市民・団体が一つ屋根の下「エコプラザ」で活動できるようになることは大変うれしい。団体間の交流をする中で、学習会や講演会を企画し、その成果を積み上げていきたい。
- ・環境関連の講演会の開催。
- ・持込み企画の実施。
- ・粗大ごみ回収の中からまだ使える物品の販売（ごみの中からこんなもの展）。
- ・廃油プラントができないか（練馬区のような）。

- ・見てわかるグリーンインフラモデル展示。
- ・武蔵野市の下水道を知る模型。
- ・エコに関する市としての大きな取組方針が明確に示され、その方針における「エコプラザ」の役割が市民として感ずることができるといいですね。
- ・現在の活動場所で用が足りるので必要性を感じない。
- ・アイデアの造成、実験をし合う場が定期的であり、そのスキルを活動として実施する。
- ・展示やイベント、セミナーなどの場として。
- ・公園ボランティアにとって、活動資金を得る場所がありません。環境系の団体が優先される自由な場があればと思います。情報交換もできれば有意義です。
- ・従来の役所主導の仕組みを脱し、わかりやすく、気軽で、楽しく、センスのある場所にして欲しい（例、Caféスペースや各グループのワークshopなどの開催がいつもあるようなイメージ）。
- ・若い人達を取り込む工夫（例、ライブコンサート、発表の場の提供など）。
- ・資料を整理・陳列してだれもが利用できるスペースが欲しい。
- ・近隣自治体、近隣の活動団体の報告書。
- ・活動に使用した教材・資料を使い回しができる。

## 6 旧クリーンセンターのプラットフォーム活用アイデア（自由記述）

- ・なかなか大きな音を出せる場所がないので、音楽や体験イベントなどができたら良いのでは？
  - ・秋～冬にかけて落ち葉の事が問題になります。落ち葉の感謝祭のようなイベントを再開してはどうでしょうか？また、農家さんとコラボするなどして（堆肥として利用したい農家さんにひきとってもらう為の一時保管場所）利用できないでしょうか？
  - ・緑ボランティアグループの発表の場になるイベントを開催し、次世代のボランティア参加を促したい。多くのグループが一堂に会することによって、参加しようとする人たちがグループを比較して選ぶことができる。
  - ・生物多様性のイベントを考えたい。
  - ・屋内なので天候に左右されずに開催できるのは、とても良い場所だと思う。
  - ・雨天にも対応でき、電気やガスも使用可能なマルシェの場（地域のおまつりの場）。
  - ・音響も良さそうなのでLiveもできるとよい。
  - ・環境・ごみ減量のイベント開催場所。
  - ・フリーマーケット（付加価値の付いた内容で）。
  - ・子供のためのイベント開催場所。
  - ・年数回は「フリマ」をやってはどうか。
  - ・環境×アートのイベントを実施する。
  - ・苗の提供、植物に対する知識、相談を提供できます。プラットフォームを利用して苗木交換会もできると思います。緑を通してより良いまち作りを考える場所にしたいと考えています。
  - ・深く関わっている廃材利用をルーツに持つ音楽（ジャグ・バンド・ミュージック）のフェスト廃材利用手仕事マルシェのピースフルな複合イベントをやりたい！
  - ・市と共同でイベントを開催したいです（動物愛護系）。
  - ・ねこの譲渡会もできるとうれしいです。
  - ・アーティストに開放して、発表の場にしてみよう。
  - ・エコファッションのファッションショーの開催。
  - ・「エコ」（→もったいない、リユース、リメイク、アップリサイクル）をテーマにしたアートを募集して、展示する。
  - ・木の廃材を集め、それを自由につなぎ合わせるなど、大きなモニュメントをつくる（一定期間で作り変える）。
  - ・簡単な住宅のモデルを作り、エコハウスを体験できる。①屋根にソーラーパネル。ベランダにベランダ発電キット。②窓断熱リフォーム。床断熱リフォーム。③省エネ家電。
- 企業のHEMS最先端モデルハウスではなく、市内の大部分の住宅で取り組める、身の丈の省エネ・創エネ対策。

- ・武蔵野の動植物の展示。
- ・クリーンセンターの歴史。ごみピットの歴史。
- ・展示については、市内の団体に限らず、全国的に活動する団体が多いパネルを所有しているので、出展してもらおうとよいのではないかと。
- ・以前ものづくり工房hicobueの壁で行った「アルミ缶展示」がとてもきれいでした。つぶしたアルミ缶を壁一面に貼っていくのですが、光があたると反射してきらきらと美しかったです。壮大なスケールで行くと圧巻かもしれません。
- ・市民の集う場所として目を引く、展示・仕掛け（大空間でなければできないこと）。
- ・雨水の行方展示（合流式下水道のしくみ）。
- ・「食品ロス」「エコ・クッキング」。関連した団体同志で共働していくのもよいのではないかと。
- ・生ごみの肥料作り
- ・苗作り
- ・草花、野菜販売
- ・無料で物物交換できるリユースマーケットを常設する（逗子市の「エコ広場」のようなイメージ）。
- ・雨水の貯留・浸透を横から見られる。

- ・一部は庭や畑、池にしているいろいろな形態での雨のゆくえを確かめられるとすばらしいです。
- ・NHKの「大科学実験」等の場所として提供する（環境問題関連）。
- ・小中学校、高校の環境問題関連の科学実験を募り、実施に提供・協力する。
- ・民間企業の環境問題についての科学実験の、市民へのプレゼンの場に貸し出す。
- ・種々のロボットの実験。
- ・雨水センター（福岡県の「あまみず憩いセンター」）や雨庭（レインガーデン）があると、市民のとりくみの参考となる。
- ・太陽光や廃熱利用エネルギーだけではなく、太陽熱利用も促す仕組みがほしい。
- ・会議室形式でなく丸テーブルとイス5脚の組合せで2～3組設置し、だれでもいつでもそこで打合せしたり、議論したりできるスペースが欲しい。
- ・日常的には、子どもたちの遊び場として活用する。
- ・災害時の避難所。
- ・ドローンの飛行訓練。
- ・足湯につながらながら、交流できるスペース。
- ・ボルダリングの施設を設置する。

## 7 エコプラザ（仮称）全般についての意見（自由記述）

- ・定例的な会合や研修の際に使用できるスペース（会議・研修室）が確保されると有意義です。
- ・何度でも足を運び、そこで出会った人たちとの交流や情報交換等で、地域・環境・資源・平和等への関心がより喚起され、物の見方、とらえ方のステップアップに貢献できるような場としての貢献を期待する。